

がんに関する冊子

国立がんセンター
がん情報サービス

ganjoho.jp

全国のがん診療連携拠点病院の相談支援センターで配布しています。

各種がんシリーズ



全国のがん診療連携拠点病院は、がん情報サービス携帯版「病院を探す」で参照できます。

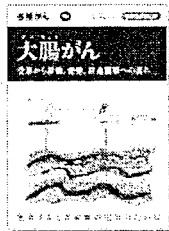
101. 胃がん



102. 食道がん



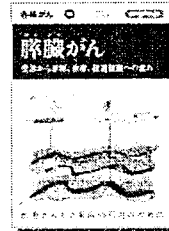
103. 大腸がん



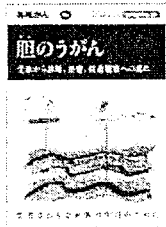
104. 肝細胞がん



105. 膵臓がん



106. 胆のうがん



111. 髄膜腫



112. 聴神経鞘腫



113. 喉頭がん



114. 舌がん



121. 中皮腫



122. 胸腺腫と胸腺がん



123. 肺がん



131. 悪性リンパ腫



132. 多発性骨髄腫



133. 慢性骨髄性白血病



141. 子宮頸がん



142. 卵巣がん



151. 腎盂尿管がん



152. 腎細胞がん



153. 前立腺がん



154. 膀胱がん



161. 悪性黒色腫



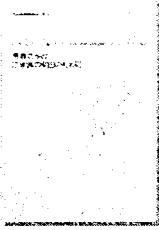
162. 乳房外パジェット病



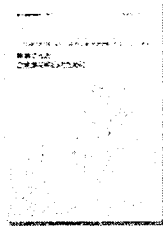
163. 悪性線維性組織球腫



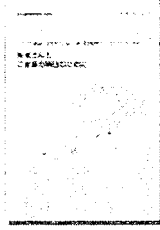
181. 悪性リンパ腫



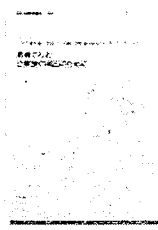
182. 横紋筋肉腫



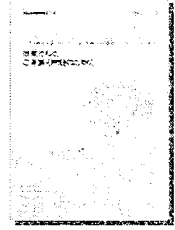
183. 肝腫瘍



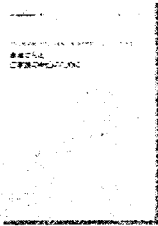
184. 骨肉腫



185. 神経芽腫



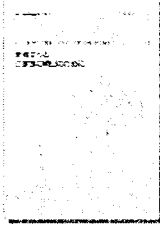
186. 腎腫瘍



187. 脳腫瘍



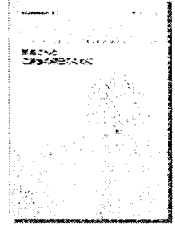
188. 胚細胞性腫瘍



189. 白血病



190. ユーイング肉腫



社会とがんシリーズ

001. 相談支援センターにご相談ください

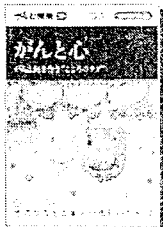


201. 家族ががんになったとき



がんと療養シリーズ

202. がんとう心



203. がん治療と口内炎

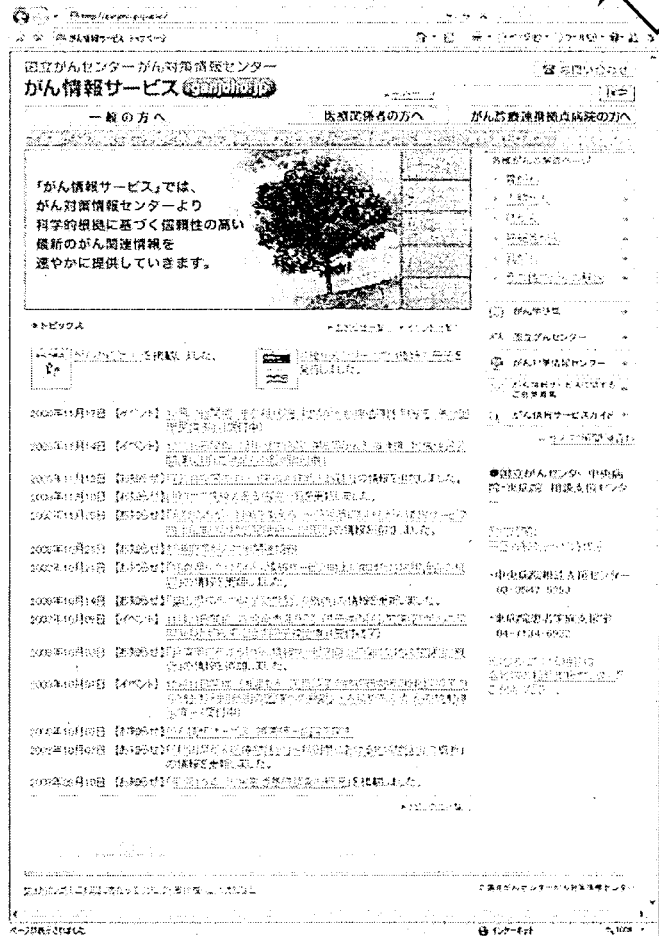


NEW!

がん情報サービスホームページ

がん情報サービス

検索



がん情報サービス (<http://ganjoho.jp/>) から冊子ファイルをダウンロードできます。

その他、がんについて信頼できる情報をわかりやすく紹介しています。

国立がんセンターがん対策情報センター発行(H21.6)

患者必携について

がん対策推進基本計画 2007年6月

分野別施策(3)がん医療に関する相談支援及び情報提供

(取り組むべき施策)

- インターネットの利用の有無に関わらず、得られる情報に差が生じないようにする必要があることから、がんに関する情報を掲載したパンフレットやがん患者が必要な情報を取りまとめた患者必携を作成し、拠点病院等がん診療を行っている医療機関に提供していく。

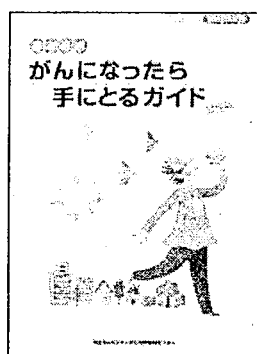
(個別目標)

- 当該パンフレットや、がんの種類による特性等も踏まえた患者必携等に含まれる情報をすべてのがん患者及びその家族が入手できるようにすることを目標とする。



がん患者必携の3本柱

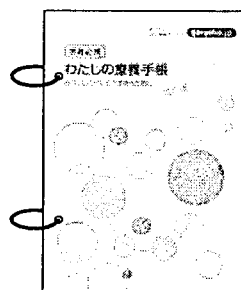
- がんの病状に応じた、がん医療・緩和ケア・在宅療養・介護支援等の情報
- 「参加型手帳」として自己の記録や情報に特化した部分
- 住み慣れた家庭や地域での療養を選択できるべく、地域の特性に応じた情報



A4判 家庭で利用

がんと向き合うための
横断的情報

心のサポート
療養情報
生活支援情報
体験談



A5判 携帯用

書き込み式
バイнда

都道府県・地域の
ページを差し込み



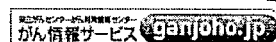
チェックリスト
診療メモ
ダイアリー
かかりつけリスト

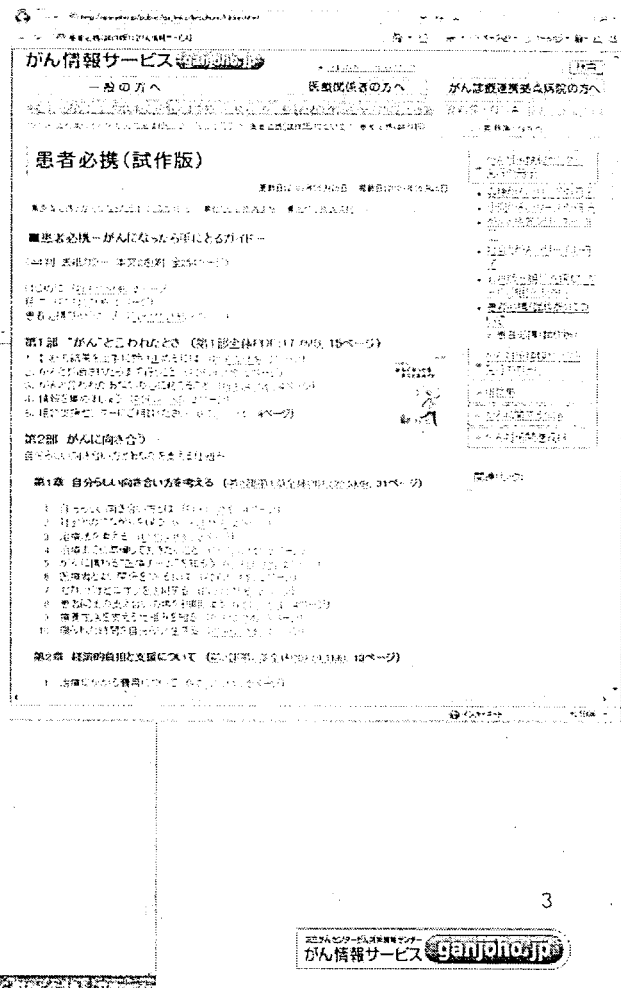
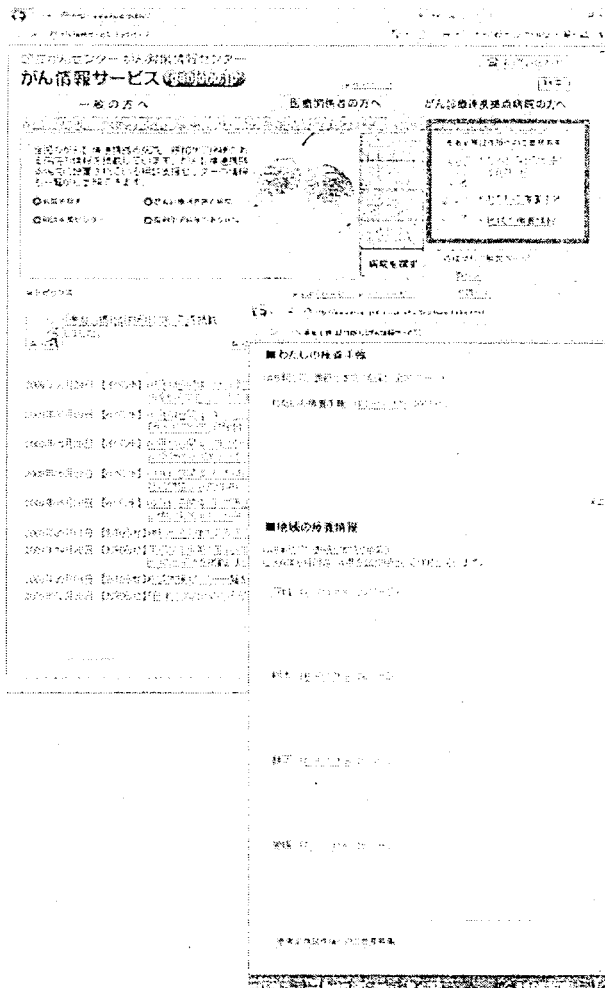


A5シート/冊子 医療機関
支援窓口

地域に特化した
情報

栃木、茨城、静岡、愛媛
をモデルとして作成



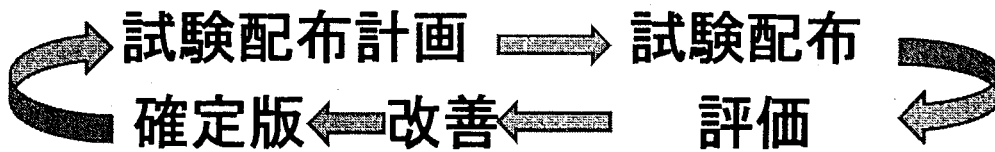


3



今後の計画—H21年度

・ 試作版の評価



- ・ がん情報サービスでpdfファイル公開
 - ホームページアンケート
- ・ 7/3都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会で配布
 - 地域がん診療拠点病院へ郵送
- ・ 7/11市民向け情報講演会
- ・ 患者・市民パネルでモニタリング
- ・ 対がん研究班で実証実験

4



平成21年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

研修名	対象				都道府県からの推薦	研修期間	定員	研修の目的・概要	平成21年度予定		
	職種	要件	指導者養成	病院の種類(注1)							
緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修	医師	臨床経験10年以上で、そのうち少なくとも緩和医療の臨床経験が専従の場合3年以上、兼任の場合5年以上であること	○	③(都道府県が推薦する者)	有	3日	各都道府県1~2人 定員64人	がん対策基本法で策定された、がん対策推進基本計画における緩和ケアに関する個別目標を達成するため、各都道府県における緩和ケア教育の中心となる指導者育成のための研修。	2009/4/24-26		
精神腫瘍学の基本教育のための都道府県指導者研修	医師	臨床経験10年以上で、そのうちがん患者の精神症状の緩和に携わる経験が専従もしくは専任の場合3年以上、その他の場合5年以上あることが望ましい	○	③(都道府県が推薦する者)	有	2日	各都道府県1~2人 定員64人	がん医療に携わる精神腫瘍医が精神腫瘍学に関して「知っているべき知識」と「臨床に実施すべき内容」を理解し、今後、都道府県がん対策推進計画などに基づいて実施される「がん医療に携わる医師向けの研修」で教育すべき内容を理解する。	2009/4/25-26		
短期がん専門研修	医師	以下の条件の全てに該当する者 ①大学(医学課程)卒業の医師免許証を有する医師であって、平成20年4月1日の時点で、臨床経験3年以上を有する者②研修を希望する診療科の専門的な知識を有する者	○	②	無	6ヶ月	年間2回 中央病院各10人 東病院各5人	レジデントに準ずる身分で、がんセンターにおける医師研修の門戸を広げる。長期間の研修が困難な医師を対象として専門的な研修を行い、地域における指導者として活動できる人材を育成する。拠点病院勤務者、および化学療法、放射線治療および緩和ケア専攻者を優先的に採用する。	年間2回(4月1日、10月1日)		
がん看護研修企画・指導者研修	看護師 行取担当者	がん看護研修の企画・運営を行う者	○	①②	有	年間2回 各回2日間	各回50人(合計100人)	がん看護に関する研修を各都道府県において円滑かつ効果的に実施することを推進するために、がん看護に関する研修を企画・運営する指導者を育成する。	第1回:H21年6月25日、26日 第2回:H21年7月9日、10日		
がん看護専門分野(指導者)講義研修	がん化学療法看護コース	看護師 看護経験5年以上かつ専門分野経験3年以上の指導者的立場の看護師	○	②	無	年間1回 4日間	40人	がん診療に従事する看護師に対し、高度で専門的な知識および技術を習得させ、がん看護実践の充実を図る。がん看護の各専門分野における地域および施設でのリーダーを養成する。	H21年9月8~11日		
	緩和ケアコース								年間1回 4日間	40人	H21年9月15~18日
	放射線療法看護コース								年間1回 3日間	40人	H21年9月2~4日
がん看護専門分野(指導者)実地研修	がん化学療法看護コース	看護師 看護経験5年以上かつ専門分野経験3年以上の指導者的立場の看護師 講義研修を受講しておくこと	○	②	有	年間1回 3ヶ月	6人	がん診療に従事する看護師に対し、高度で専門的な知識および技術を習得させ、がん看護実践の充実を図る。がん看護の各専門分野における地域および施設でのリーダーを養成する。講義研修を踏まえた実地研修を行い、がん看護実践能力の向上を目指す。	H21年10月5日~12月25日		
	造血幹細胞移植看護コース								1人	H21年10月5日~12月25日	
	緩和ケアコース								4人	H21年10月5日~12月25日	
	放射線療法看護コース								4人	H21年10月5日~12月25日	
	フォローアップ研修	看護師	H19年度・H20年度に実地研修を受講済とした看護師	○	②	無	年間1回 1日	30人程度	がん看護専門分野(指導者)実地研修受講後の臨床実践および地域や施設でのリーダーシップ発揮についてフォローアップを行う。	H22年2月5日	
がん診療連携拠点病院緩和ケアチーム研修会	身体症状担当医師、精神症状担当医師、看護師および薬剤師を1チーム(4人)として参加	がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームのメンバーとして実働している左記の者で年間のコンサルテーション数が100件程度以上(のべではなく実件数として)あることを原則とする	○	①②	無	2日	16チーム	緩和ケアの提供体制の整備と、院内緩和ケア教育および緩和ケアチームの各職種が果たすべき役割と専門的な知識を習得する。	2009/8月7日、8日(東京)		
がん診療連携拠点病院緩和ケアチーム基礎研修会	身体症状担当医師、精神症状担当医師、看護師および薬剤師を1チーム(4人)として参加	がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームのメンバーとして実働している左記の者で、緩和ケアチームを立ち上げたばかりのチームや、立ち上げたが活動が軌道に乗らず、コンサルテーションの件数が少ないチームであること	×	①②	無	2日	年間3回 16チーム/回 48チーム/年	緩和ケアの提供体制の整備と、緩和ケアチームの各職種の連携と協働および緩和ケアチームの各職種が果たすべき役割と専門的な知識について習得する。	2009/10月30日、31日(大阪)/12月12日13日(福岡)/1月22日、23日(東京)		
がん化学療法医療チーム養成指導者研修	医師、薬剤師および看護師を1チーム(3人)として参加	以下の条件に全てに該当する者 ①5年以上の臨床経験を有する医師、薬剤師、看護師②がん化学療法にかかわる業務に従事している者及び教育を行っている者③施設において外来化学療法の立ち上げ、または充実を図ろうとしている者	○	②	有	2日	年間2回予定 各20チーム	医師・看護師・薬剤師からなる医療チーム養成を目的とした必要な事項を講義およびグループ討議を通じて習得すること。外来化学療法チーム育成を目指し、地域における指導的役割を担える人材育成を目的とした研修内容。	年間2回(10月8-9日、3月4-5日)		
放射線治療計画指導者研修	放射線治療技師	以下の条件のいずれかに該当する者 ①原則としてがん診療連携拠点病院に在籍し、放射線治療に従事する診療放射線技師等 ②がん診療連携拠点病院以外であって、既に放射線治療の実績がある医療機関に在籍し、放射線治療に従事する診療放射線技師等 ③その他、放射線治療にかかわる教育関係者	○	②	無	10日	年間2回予定 各7人	高度化した放射線治療・放射線腫瘍学を最新の放射線治療計画装置の活用と豊富な臨床例を通して、放射線治療計画作成にかかわる知識・技術を習得し、地域において指導者として活動できる人材を育成する。	第1回:2009/7/21-7/31 第2回:2009/12/1-12/11		

平成21年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

研修名	対象				都道府県からの推薦	研修期間	定員	研修の目的・概要	平成21年度予定		
	職種	要件	指導者養成	病院の種類(注1)							
がん診療に従事する診療放射線技師研修	治療コース	診療放射線技師	診療放射線技師として、3年以上の実務経験を有し、下記設備のうち1つを有している施設又は施設しようとする施設(拠点病院を優先)に勤務している者 消化管検査装置、CT・MRI・Ri各検査装置、高エネルギー照射装置	×	②	無	19日	7人	放射線治療に関わる基本的・網羅的な知識および技能を講義および実習を通じて学ぶ。	2009/10/5～10/30	
	診断コース										消化管診断・乳腺診断・CT・MRI・Riのモダリティ毎で専攻し、それぞれに関わる基本的・網羅的な知識および技能を講義および実習を通じて学ぶ。
がん診療に従事する臨床検査技師研修	細胞診コース	臨床検査技師	臨床検査技師免許取得後3年以上臨床検査に従事し、なおかつ細胞診1年以上、又は病理あるいは血液検査2年以上の実務に従事している者	×	②	無	3ヶ月	年間2回予定 各回、 細胞診2人 超音波2人	細胞診コースおよび超音波コースを設け、それぞれの分野において豊富な症例数での研修を行う。	第1回:2009/10/1～12/28 第2回:2010/1/5～3/31	
	超音波コース										臨床検査技師免許取得後3年以上臨床検査に従事し、なおかつ超音波検査を1年以上以上の実務に従事している者
相談支援センター相談員基礎研修(1)	相談員	相談員	現在、がんの相談業務に携わるか、今後その予定がある者で医療・福祉関係の資格を持っている者、あるいはそれに準ずる者①がん診療連携拠点病院の相談支援機能を有する部門において、がんの相談業務(実務)を担当する者②がん診療連携拠点病院に指定されていない施設において、現在、がんの相談業務(実務)に携わっている者、あるいは今後その予定がある者	×	②	無	2日(午後から翌日午前)	1000人	がん全般、緩和ケア、精神医療についての概論と相談支援の原則	6月1日から2日(午後から翌日午前) 東京会場のみ(なかのZERO大ホール)	
相談支援センター相談員基礎研修(2)	相談員	相談員	同上	×	②	無	3日	1000人	相談員が必要とする基本的ながんに関する知識の習得と相談場面での援助のポイント	6月2日から4日まで(2日午後から4日午前)東京会場のみ(なかのZERO大ホール 基礎研修1と連続開催)	
相談支援センター相談員基礎研修(3)	相談員	相談員	同上並びに基礎研修(1)と(2)の受講者	×	②	無	2日	450人(全国10か所で開催:40人～45人×10回)	相談支援での援助場面を想定したグループワークと相談支援のシステム構築に関する企画・運営力の養成	4月18日と19日(高崎)、4月25日と26日(東京)、5月23日と24日(兵庫)中止(別途開催)、6月20日と21日(岩手)、7月4日と5日(愛知)、7月25日と26日(岡山)、8月1日と2日(東京・別途開催)、8月29日と30日(福岡)、9月26日と29日(東京)、9月30日と10月1日(東京)、11月9日と10日(東京)	
相談支援センター相談員トレーナー研修	相談員	相談員	同上並びに基礎研修(1)と(2)と(3)の受講者	○	①	無	1日	100人(東京で二回開催:50人×2)	各地域において相談員の指導が可能な人材養成	2月、3月頃	
院内がん登録初級者研修	職種は特に問わない	職種は特に問わない	以下の条件に該当する者 ①これから登録を始める、あるいは登録を始めておおむね1年以内の登録業務経験者(9月1日～3日の研修については別途要件を追加※1)	×	③	無	各3日開催 第1回 (1日目:基礎講義、 2日目:A演習①またはB演習①、 3日目:A演習②またはB演習②) 第2回 (1日目:基礎講義、 2日目:A演習②またはB演習②、 3日目:A演習①またはB演習①)	100人程度/回	主要5部位のがんについて、UICCのTNM分類などの病期分類などをコーディングでき、院内がん登録の標準登録様式などに関して十分な知識を有するレベル(1～2年程度の実務経験のある者相当) 1)基礎講義、2)基礎演習、3)病期分類演習からなる。 1)基礎講義:がん概論、がん登録概論、ICD-O3コーディングルール、標準登録様式、病期分類概論 2)基礎演習:ICD-O3と標準登録様式演習 3)病期分類演習:主要5部位(胃・大腸・肝臓・乳房・肺)の病期分類演習 2)、3)の演習については、難易度別に簡単な演習(A演習)、やや難しい演習(B演習)に分けて行う 前期と後期で基礎講義は共通であるが、演習は内容が異なる	第1回(1日目:基礎講義、2日目:A演習①またはB演習①、3日目:A演習②またはB演習②) 5月20日～22日(仙台) 5月25日～27日(東京①) 6月3日～5日(札幌) 6月10日～12日(名古屋) 6月17日～19日(大阪) 6月24日～26日(広島) 7月8日～10日(東京②) 7月21日～23日(福岡)	9月1日～3日(調整中)※1
										第2回(1日目:基礎講義、2日目:A演習①またはB演習①、3日目:A演習②またはB演習②) 10月28日～30日(札幌) 11月4日～6日(大宮) 11月25日～27日(広島) 12月2日～4日(仙台) 12月16日～18日(大阪) 1月13日～15日(名古屋) 1月20日～22日(福岡) 1月26日～28日(東京)	

平成21年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

研修名	対象				都道府県からの推薦	研修期間	定員	研修の目的・概要	平成21年度予定
	職種	要件	指導者養成	病院の種類(注1)					
院内がん登録初級修了者研修(新規)	職種は特に問わない	以下の条件に該当する者 ①初級者研修修了者	×	③	無	1日/回	若干名/回	初級者研修会修了者を対象に、院内がん登録に関する最新状況の情報提供ならびに、標準登録様式の再確認を行う。高便な問題演習を含んだ半日研修	5月20日(仙台) 5月25日(東京①) 6月3日(札幌) 6月10日(名古屋) 6月17日(大阪) 6月24日(広島) 7月8日(東京②) 7月21日(福岡) 10月28日(札幌) 11月4日(大宮) 11月25日(広島) 12月2日(仙台) 12月10日(大阪) 1月13日(名古屋) 1月20日(福岡) 1月28日(東京)
院内がん登録中級者研修	職種は特に問わない	以下の条件の全てに該当する者 ①初級者研修修了者(申込時に修了証のコピーをつける) ②拠点病院に指定されている施設で登録実務2年程度の経験、あるいは単独での登録症例数が1000例以上の登録実務経験者③施設長の推薦を有する者	×	①	無	5日間/回	35人/回	主要5部位以外のUICCのTNM分類などの病期分類のコーディングを行うことができ、また各種感取扱い規約の内容も十分に理解するレベル(登録実務2年以上の経験のある者相当)受講に際しては受験試験を実施し、この試験で一定水準を満たした者を対象とする。 1)基礎講義(特に、UICC TNM分類第6版における全対象部位)、2)登録演習、3)病期分類演習 最終日に実施予定の修了試験に合格した実務者に修了証書を発行	1回目7月13～17日 2回目9月19～23日 3回目11月9～13日 4回目12月7～11日
院内がん登録指導者研修	職種は特に問わない	以下の条件の全てに該当する者 ①登録実務2年以上の経験者で院内がん登録初級者研修会講師として指導できる者②初級者研修修了者③施設長の推薦を有する者	○	③	有	5日間/回	16人名/回	○中級者以上のレベルを有した実務者(平成21年度は初級者研修修了者)から指導者養成 ○初級者研修に主体的に関わってもらうとともに、当番は各ブロックに2～3名の指導者、将来的には都道府県拠点病院に1名以上の指導者を配置 ○その地域の院内がん登録に関して指導的に関われる体制整備をめざす 1)実演演習(講義、演習説明)、2)グループ討論からなり、 初級研修会での講義や説明の実演演習を行うとともに、院内がん登録に関わる諸問題、あるいはトピックスに関してグループ討論を行い、解決策を探る ○全国で開催している初級者研修会での講義あるいは演習指導を行い、一定の基準を満たしたことで指導者研修修了とする。	1回目8月24-28日 2回目2月1-5日

平成21年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

研修名	対象				都道府県からの推薦	研修期間	定員	研修の目的・概要	平成21年度予定
	職種	要件	指導者養成	病院の種類(注1)					
院内がん登録指導者継続研修(新規)	職種は特に問わない	以下の条件に該当する者 ①院内がん登録指導者研修会修了者または、受講中で初級者研修会で講義担当、演習指導を予定している者	○	③	無	1日間/回	年間30名程度	○初級者研修会で講義担当、演習指導を予定している指導者研修修了者あるいは指導者研修受講者を対象に最新の情報提供を行うとともに講義および演習を円滑に進める研修を行う。 1)最新情報の講義、2)グループ討論からなり、初級研修会での講義や説明の実演演習に反映させるとともに院内がん登録の諸問題に関してグループ討論を行い、解決策を探る	1回目4月24日 2回目9月25日
地域がん登録行政担当者向け研修	都道府県庁に勤務する対策行政担当者	都道府県のがん対策・がん登録担当課職員	×	その他	無	年1回1日	100人程度	地域がん登録を活用した事業の企画支援。全国の都道府県のがん対策・がん登録担当課職員を対象として実施。	12月1日
地域がん登録実務者研修	地域がん登録室に勤務するがん登録実務者	地域がん登録室に勤務するがん登録実務者	×	その他	無	年1回1日	150人程度	地域がん登録実務者を対象とした初級者研修	12月2日
院内がん登録見学研修	院内がん登録関係者	院内がん登録関係者	×	③	無	月1回(隔月第3金曜日・半日)	20名/回 年間100人程度	院内がん登録の実務体制の見学	原則として隔月の第3金曜日

(注1)病院の種類:①拠点病院の医療従事者に限定、②拠点病院の医療従事者を優先、③全ての医療機関を対象

(注2)①健康局予算の移し換えによる研修、②医政局長通知に基づく研修

※1 がん診療連携拠点病院の更新あるいは新規申請に対する研修という位置づけのため、原則として指定要件にかかわる施設でやむを得ない事情がある場合に参加者を限定して開催する予定。